

## 第 39 回社会言語科学会研究大会 プログラム

### ◎1日目 2017年3月18日(土)

9:30	受付開始	[F棟3F ロビー]
10:00	開会	
10:00-12:15	<b>研究発表(口頭発表)</b>	
	セッション 1	[F棟3F F303 教室]
	セッション 2	[F棟3F F310 教室]
	セッション 3	[F棟3F F311 教室]
	セッション 4	[F棟4F F414 教室]
12:15-13:10	<b>JASS カフェ</b>	[F棟4F F414 教室]
12:15-13:15	昼休み(理事会)	
13:15-13:20	<b>開催校ご挨拶</b>	[F棟3F F309(メイン会場)・F310 教室(中継会場)] ※ F309 教室がメイン会場で、F310 教室にも同時中継を行います。以下同様 ポール・スノードン(杏林大学副学長)
13:20-13:25	<b>会長挨拶</b>	[F棟3F F309(メイン会場)・F310 教室(中継会場)]
13:25-14:45	<b>大会発表賞授賞式, 徳川宗賢賞授賞式および記念講演</b>	[F棟3F F309(メイン会場)・F310 教室(中継会場)]
14:45-15:00	休憩	
15:00-18:00	<b>シンポジウム(一般公開)</b>	[F棟3F F309(メイン会場)・F310 教室(中継会場)]
18:30-	懇親会	[F棟1F 学生食堂]

### ◎2日目 2017年3月19日(日)

10:00	受付開始	[F棟3F ロビー]
10:30-11:45	研究発表(ポスター発表)	[F棟3F ロビー]
11:45-13:00	昼休み(各委員会)	
11:50-12:50	<b>チュートリアル・セッション</b>	[F棟3F F302 教室]
13:00-15:15	<b>研究発表(口頭発表)</b>	
	セッション 5	[F棟3F F303 教室]
	セッション 6	[F棟3F F310 教室]
	セッション 7	[F棟3F F311 教室]
	セッション 8	[F棟4F F414 教室]

## 口頭発表

1 日目 2017 年 3 月 18 日 (土)

### セッション 1 [F 棟 3F F303 教室] 司会：小川 俊輔 (県立広島大学)

- |             |   |
|-------------|---|
| 10:00-10:30 | <b>多言語政策を通じた集団間関係の形成をめぐる一ポリビア東部低地チキタニア地方におけるベシ口語教育政策と政党争いの分析から一</b><br>中野 隆基 (東京大学)     |
| 10:35-11:05 | <b>言語の選別と淘汰をめぐるポリティクスー南米, チキトスのイエズス会ミッションにおける言語政策とその帰結一</b><br>金子 亜美 (東京大学)             |
| 11:10-11:40 | <b>相互行為を通して示される在日外国人の文化的アイデンティティーIdentity と Subjectivity による分析の試み一</b><br>ミラー 成三 (千葉大学) |
| 11:45-12:15 | <b>日本人であることが語られる文脈ー「中国残留孤児・中国残留婦人」のインタビューから一</b><br>時津 倫子 (成城大学)                        |

### セッション 2 [F 棟 3F F310 教室] 司会：建石 始 (神戸女学院大学)

- |             |   |
|-------------|---|
| 10:00-10:30 | <b>他称詞としての指示詞ー親族間の談話における運用一</b><br>小森 由里 (国際基督教大学/立教大学)   |
| 10:35-11:05 | <b>省略可能な二人称代名詞がもつ働きかけの的地域差</b><br>山本 空 (関西大学)   |
| 11:10-11:40 | <b>会話に見る「また」の用法ーコミュニケーションの特性に応じた構文の発達一</b><br>堀内 ふみ野 (慶應義塾大学/日本学術振興会), 第十 早織 (東京外国語大学/アルバータ大学), 浜田 啓志 (杏林大学), 中山 俊秀 (東京外国語大学) |
| 11:45-12:15 | <b>メディアと場面に応じた英語定型表現の使い分け</b><br>土屋 智行 (九州大学)   |

### セッション 3 [F 棟 3F F311 教室] 司会：山本 真理 (早稲田大学)

- |             |   |
|-------------|---|
| 10:00-10:30 | <b>スタイルシフトにおける非デスマス形の指標的機能ー非デスマス形へのシフトは親しみを表すかー</b><br>岡崎 渉 (東京工業大学)  |
| 10:35-11:05 | <b>K-POP ファンダムとコードスイッチングー韓国女性アイドルグループ〈少女時代〉の東京ドーム公演における発話を通して一</b><br>鄭 孝俊 (東京大学)   |
| 11:10-11:40 | <b>LINE の会話における聞き手の行動ー相づちの分析から一</b><br>倉田 芳弥 (専修大学), 佐々木 泰子 (お茶の水女子大学), 加納 なおみ (お茶の水女子大学), 楊 虹 (鹿児島県立短期大学), 船戸 はるな (お茶の水女子大学) |
| 11:45-12:15 | <b>自閉症スペクトラム者との相互行為で用いられる解釈フレームについてー初対面会話と対話者へのフォローアップインタビューの談話分析から一</b><br>合崎 京子 (立教大学)                                      |

**セッション 4** [F 棟 4F F414 教室] 司会：杉浦 秀行 (摂南大学)

10:00-10:30	<b>日豪における移動する人々の言語レポーター調査—社会ネットワークへの参加の文脈に焦点を当てて—</b> 村岡 英裕 (千葉大学), 倉田 尚美 (Monash University)
10:35-11:05	<b>フレーミングとフッティング理論から言語と自己形成の関連性を探る—旧満洲国の日本人住民のアイデンティティー—</b> 甲賀 真広 (首都大学東京)
11:10-11:40	<b>商標の類否判断基準における質的データ分析(QDA)と形式概念分析(FCA)の統合的アプローチ</b> 五所 万実 (慶應義塾大学)

**2 日目 2017 年 3 月 19 日 (日)**

**セッション 5** [F 棟 3F F303 教室] 司会：大場 美和子 (昭和女子大学)

13:00-13:30	<b>日本語と中国語における呼びかけ語の対照研究—感情表出の調整に着目して—</b> 楊 虹 (鹿児島県立短期大学)
13:35-14:05	<b>中日両言語における慣習的間接発話行為の特徴に関する—考察—不同意発話行為を中心に—</b> 張 麗 (広島大学)
14:10-14:40	<b>中国人留学生と日本人学生の友人関係の談話にみる感謝ストラテジー</b> 市原 明日香 (お茶の水女子大学)
14:45-15:15	<b>日本・韓国・中国の自己否定的な評価表出場面における会話展開に関する—考察—</b> 金 庚芬 (明星大学), 関崎 博紀 (筑波大学), 趙 海城 (明星大学)

**セッション 6** [F 棟 3F F310 教室] 司会：平田 未季 (秋田大学)

13:00-13:30	<b>格助詞「に」で終わる新聞見出しについて</b> 劉 吉香 (関西外国語大学/東北電力大学)
13:35-14:05	<b>日本語の述語における機能語の省略について</b> 尹 盛熙 (関西学院大学)
14:10-14:40	<b>再帰構文の周辺例についての認知メカニズム</b> 李 静 (九州大学)
14:45-15:15	<b>悪魔は細部に宿る—構文認識の分散的手掛かりとしての英語冠詞から探る聞き手指向の文法論—</b> 吉川 正人 (慶應義塾大学)

**セッション 7** [F 棟 3F F311 教室] 司会：嶋 ちはる (国際教養大学)

13:00-13:30	<b>Japanese Diplomatic Discourse: Speeches of Two Foreign Ministers</b> Chirasombutti Voravudhi (Chulalongkorn University)
13:35-14:05	<b>不満表明としての「皮肉・冗談」—タイ日接触場面に注目して—</b> ウォンサミン スリーラット (お茶の水女子大学)
14:10-14:40	<b>日本の英語による対外情報発信の談話分析</b> 山本 はるか (慶應義塾大学)
14:45-15:15	<b>岡崎敬語調査に見る談話構成傾向の年齢層間差と経年変化</b> 藏屋 伸子 (日本大学)

**セッション 8 [F 棟 4F F414 教室]** 司会：生天目 知美（東京海洋大学）

13:00–13:30	<b>沈黙に対して参与者と研究者はどのように捉えているのか—沈黙行為の解釈枠組みの構築に向けて—</b> 種市 瑛（立教大学）
13:35–14:05	<b>繰り返しを含む会話の連鎖からみえる会話スタイル—日中韓母語話者の比較から—</b> 荻原 稚佳子（明海大学）
14:10–14:40	<b>日・英語初対面会話における聞き手の関与ストラテジーと会話構造の対照分析</b> 岩田 祐子（国際基督教大学）

**ポスター発表**

**2 日目 2017 年 3 月 19 日（日） 10 : 30 – 11 : 45**

**[F 棟 3F ロビー]** 司会：安井 永子(名古屋大学)

P-01	<b>物語に重要な要素は何か</b> 加藤 祥（人間文化研究機構）
P-02	<b>中国語における日源新詞の受容—一定着度調査を中心として—</b> 張 曉娜（鹿児島大学）
P-03	<b>The Sociolinguistic Generalization of Modern Chinese Kinship Terms in Taiwan</b> 張 榕陞（台湾大学）
P-04	<b>Character Language in Mandarin Chinese: A Case Study of Final Particles A‘啊’ and Ya‘呀’</b> 張 祖寧（台湾大学）
P-05	<b>ポライトネス理論の D・P 変数の感度の日中比較</b> 燕 興（千葉大学），伝 康晴（千葉大学）
P-06	<b>「一体感」の遡及的醸成</b> 幸田 瑞希（日本女子大学）
P-07	<b>大学生と中学生／高校生との連携ディベート授業の実践と課題</b> 鈴木 佳奈（広島国際大学），久次 弘子（広島国際大学），甲田 純生（広島国際大学）
P-08	<b>日本語対話における母語話者と非母語話者の話者交替についての差異</b> 張 雪薇（早稲田大学），菊池 英明（早稲田大学）
P-09	<b>日本語母語話者間における「悩み語り」の研究—「人間関係に関する悩み」の会話の構造に注目して—</b> 北口 信幸（大阪大学）
P-10	<b>バイリンガリズムからみる消滅危機言語—宮古島市のフィールドワークと中学生へのインタビューから見えてきた課題—</b> 藤田ラウンド 幸世（立教大学）
P-11	<b>「やさしい日本語」の知的障害者への応用可能性—時事情報に着目して—</b> 打浪 文子（淑徳大学短期大学部）
P-12	<b>中国の大学の交流プログラムにおける「対話」の様相—日本語学習者に対する効果に注目して—</b> 竹内 七奈（南京農業大学），谷 智子（南京工業大学）
P-13	<b>怪談の語りにおけるジェスチャー視点の選択</b> 伊田 史佐（立命館大学），岡本 雅史（立命館大学）

- |      |  |
|------|--|
| P-14 | <b>アマチュアによるものづくりのコミュニケーションからみる活動の継続性</b><br>松浦 李恵 (慶應義塾大学), 加藤 文俊 (慶應義塾大学), 岡部 大介 (東京都市大学)           |
| P-15 | <b>中国人留学生同士の初対面会話に現れる「自慢話」の考察</b><br>金 勝 (首都大学東京)  |
| P-16 | <b>ネットワーク環境の差異は外国人居住者の言語管理にどのように影響しているか—長期滞日中国人居住者の事例分析—</b><br>鄒 暁依 (千葉大学)                          |
| P-17 | <b>外国人児童の小学校中学年における「考えを述べる力」の発達—「意見文」の分析を通して—</b><br>菅原 雅枝 (東京学芸大学), 齋藤 ひろみ (東京学芸大学), 鳶田 陽子 (日米会話学院) |

### シンポジウム (一般公開)

2017年3月18日(土) 15:00-18:00

<医療現場のコミュニケーション> [F棟3F F309(メイン会場)・F310教室(中継会場)]

※ F309教室がメイン会場で, F310教室にも同時中継を行います

**在宅医療における地域連携—東日本大震災からの復興とともに—**

村岡 正朗 (宮城県気仙沼市村岡クリニック)

**地域と医療福祉—医療現場で見えてきたこと, 地域のためにできること—**

加藤 雅江 (杏林大学医学部附属病院患者支援センター)

**高齢者を支えるまちづくりと連携について—行政の取り組み—**

古園 純一 (三鷹市健康福祉部高齢者支援課)

**安心から納得のコミュニケーションへ—「豊かな生」を実現するための共通基盤—**

石崎 雅人 (東京大学, 司会)

(順不同)